



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社 eWell
コード番号 5038 URL <https://ewell.co.jp> 上場取引所 東
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 剛人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 澤田 景一郎 TEL 06 (6243) 3355
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,205	24.2	528	17.4	529	17.2	365	26.3
2023年12月期中間期	970	31.2	449	33.4	451	34.7	289	25.6

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	24.44	24.03
2023年12月期中間期	20.79	19.05

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益および潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,567	1,952	76.0
2023年12月期	2,380	1,690	71.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,952百万円 2023年12月期 1,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年12月期（予想）については、当該株式分割後の予想配当額を記載しております。

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,560	23.7	1,111	22.3	1,112	22.1	749	22.3	52.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	14,995,867株	2023年12月期	14,961,792株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	166株	2023年12月期	166株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	14,973,694株	2023年12月期中間期	13,935,692株

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会および決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年8月14日に機関投資家および個人投資家向けに第2四半期（中間期）決算説明会を開催する予定です。

第2四半期（中間期）決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間損益計算書に関する注記)	7
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日まで)におけるわが国経済は、社会・経済活動が活性化し雇用・所得環境が改善する中、インバウンド消費の増加もあり緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、長期化するウクライナ紛争、中東地域をめぐる情勢、アメリカ次期大統領選の動向、原材料・エネルギー価格の高止まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社の顧客が事業を展開する在宅医療業界におきましては、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、地域包括ケアシステムの構築を実現させることが国策として進められているなか、2024年6月からの「訪問看護レセプト(医療保険請求分)のオンライン請求」および「訪問看護のオンライン資格確認」の開始により、この業界での医療DXが推進されるとともに、2024年度の診療報酬・介護報酬改定も「訪問看護」の報酬はプラス改定になるなど、国策により追い風が吹く環境となりました。

このような状況の中で当社は、2024年度の診療報酬・介護報酬改定への対応およびAIを活用した新サービスの開発などを実施しました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、主力サービスの「iBow」の新規顧客獲得が順調に推移し、売上高は1,205,706千円(前年同期比24.2%増)、営業利益は528,353千円(同17.4%増)、経常利益は529,174千円(同17.2%増)、中間純利益は365,885千円(同26.3%増)となりました。

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。売上高をサービスカテゴリー別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

売上高								営業利益
会計期間	クラウドサービス			BPOサービス		その他	計	
	iBow	iBow レセプト	その他	iBow事務 管理代行 サービス	その他			
当中間会計期間	945,639	97,214	32,274	115,140	540	14,897	1,205,706	528,353

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は2,018,075千円となり、前事業年度末に比べ161,306千円増加しました。これは主に、中間純利益の増加等により現金及び預金が105,985千円増加、売上高の増加に伴い売掛金が38,157千円増加したこと等によるものであります。固定資産は549,263千円となり、前事業年度末に比べ25,302千円増加しました。これは主に、減価償却等により有形固定資産が12,835千円減少、iBow機能追加等でソフトウェアの増加により無形固定資産が15,142千円増加、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行等により投資その他の資産が22,995千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,567,338千円となり、前事業年度末に比べ186,609千円の増加となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は513,008千円となり、前事業年度末に比べ75,629千円減少しました。これは主に、未払法人税等が46,766千円減少、流動負債「その他」が42,793千円減少したこと等によるものであります。固定負債は102,220千円となり、前事業年度末に比べ168千円増加しました。

この結果、負債合計は615,229千円と前事業年度末に比べ75,460千円減少となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は1,952,109千円となり、前事業年度末に比べ262,069千円増加しました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行および新株予約権の行使により、資本金が22,901千円増加、資本剰余金が22,899千円増加し、また中間純利益の計上により利益剰余金が365,885千円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が149,616千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の71.0%から76.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は1,518,893千円となり、営業活動により298,267千円増加、投資活動により41,380千円減少、財務活動により150,901千円減少したことにより、前事業年度末と比較して105,985千円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、298,267千円(前年同期は203,217千円の獲得)となりました。これは主に、業績が好調に推移したことによる税引前中間純利益の計上529,174千円等の資金の増加があったものの、売上債権の増加38,157千円、未払金の減少65,982千円、法人税等の支払額又は還付額による支出212,564千円等の資金の減少があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、41,380千円(前年同期は47,604千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,280千円、iBow機能追加等による無形固定資産の取得による支出29,100千円があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、150,901千円(前年同期は105,895千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額149,616千円、長期借入金の返済による支出1,500千円があったこと等によります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の業績予想につきましては、2024年2月13日の「2023年12月期 決算短信」にて公表した通期業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412,907	1,518,893
売掛金	416,178	454,336
その他	28,594	46,550
貸倒引当金	△911	△1,703
流動資産合計	1,856,768	2,018,075
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	236,426	228,997
その他(純額)	45,039	39,632
有形固定資産合計	281,465	268,629
無形固定資産	106,115	121,258
投資その他の資産		
その他	137,829	161,996
貸倒引当金	△1,449	△2,621
投資その他の資産合計	136,379	159,375
固定資産合計	523,961	549,263
資産合計	2,380,729	2,567,338
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,577	39,008
1年内返済予定の長期借入金	91,500	90,000
未払法人税等	224,700	177,934
その他	248,858	206,064
流動負債合計	588,637	513,008
固定負債		
資産除去債務	102,052	102,220
固定負債合計	102,052	102,220
負債合計	690,689	615,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,777	389,678
資本剰余金	358,380	381,279
利益剰余金	965,292	1,181,561
自己株式	△410	△410
株主資本合計	1,690,039	1,952,109
純資産合計	1,690,039	1,952,109
負債純資産合計	2,380,729	2,567,338

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	970,735	1,205,706
売上原価	206,315	283,537
売上総利益	764,419	922,168
販売費及び一般管理費	314,529	393,814
営業利益	449,889	528,353
営業外収益		
受取利息	5	5
受取手数料	3,027	2,594
その他	291	—
営業外収益合計	3,323	2,599
営業外費用		
支払利息	1,575	1,688
その他	207	90
営業外費用合計	1,782	1,779
経常利益	451,430	529,174
特別損失		
固定資産除売却損	2,348	—
特別損失合計	2,348	—
税引前中間純利益	449,081	529,174
法人税、住民税及び事業税	137,134	164,131
法人税等調整額	22,232	△842
法人税等合計	159,367	163,288
中間純利益	289,714	365,885

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	449,081	529,174
減価償却費	29,537	36,570
株式報酬費用	1,523	8,466
貸倒引当金の増減額(△は減少)	247	1,964
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,309	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,000	—
受取利息	△5	△5
支払利息	1,575	1,688
売上債権の増減額(△は増加)	△47,028	△38,157
固定資産除売却損益(△は益)	2,348	—
その他の資産の増減額(△は増加)	1,030	△4,161
仕入債務の増減額(△は減少)	6,843	15,430
未払金の増減額(△は減少)	11,734	△65,982
未払費用の増減額(△は減少)	△5,956	△4,211
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,146	6,107
契約負債の増減額(△は減少)	△7,176	18,909
その他の負債の増減額(△は減少)	13,251	6,564
小計	353,550	512,356
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△1,825	△1,530
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△148,512	△212,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,217	298,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,830	△12,280
無形固定資産の取得による支出	△11,705	△29,100
敷金の差入による支出	△2,354	—
その他の収入又は支出	284	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,604	△41,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,660	△1,500
自己株式の取得による支出	△410	—
配当金の支払額	△104,394	△149,616
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,569	215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,895	△150,901
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,717	105,985
現金及び現金同等物の期首残高	1,075,210	1,412,907
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,124,928	1,518,893

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年5月24日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行31,945株により、資本金が22,792千円、資本剰余金が22,792千円増加しております。また、新株予約権の権利行使により資本金が108千円、資本剰余金が106千円増加しております。

この結果、当中間会計期間末において資本金が389,678千円、資本剰余金が381,279千円となっております。

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給与・賞与	56,389千円	87,543千円
賞与引当金繰入額	18,070	—
貸倒引当金繰入額	253	1,964
減価償却費	18,125	23,548

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	1,124,928千円	1,518,893千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	1,124,928	1,518,893

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。